

令和 7 年度輸出先国・地域における規制等への対応の強化委託事業
概要 レポート(第 8 回) : EU 補助金申請 (研究・開発)



Eurovision & Associates
2026 年 2 月

目次

1	はじめに.....	1
2	EU の研究開発資金への応募.....	1
3	Horizon Europe の概要（三つの柱に基づく研究領域）.....	2
3.1	Horizon Europe の研究領域を規定する 3 つの柱.....	2
3.2	日本による Horizon Europe の準参加.....	2
3.3	Horizon Europe の申請から承認までのプロセス.....	3
3.4	Horizon Europe によって資金提供された研究開発事業の実例.....	3
4	その他の R&D に関する資金供与プログラム.....	5
4.1	その他の EU 資金供与枠組み..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
5	結びに代えて.....	5

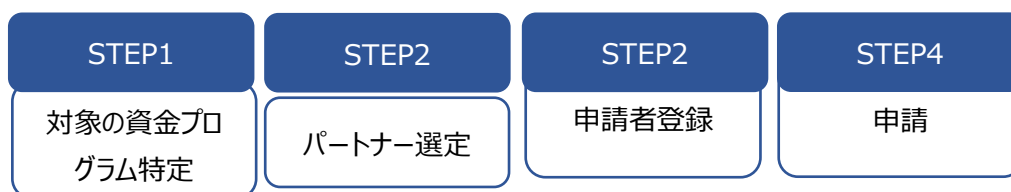
1 はじめに

本レポートは、前回の第7回レポートに続き、日本の食品企業等が利用できる主な EU の補助金・資金支援制度およびプログラムを取りまとめたものである。前回のレポートが工場の建設や投資の拡大を図りたい企業に対する支援制度を焦点としたのに対し、今回は EU 域内で研究開発活動（R&D）の強化を図りたい企業のための支援制度の概要と活用のポイントを含めて整理した。海外進出や国際共同研究の戦略的な推進を図る企業に資する内容といえる。

EU の代表的な研究開発・イノベーション支援プログラムは、Horizon Europe である。EU と日本は、2025 年 12 月に、Horizon Europe への準参加（association）に合意しており、2026 年から EU 予算に紐づく公募プロジェクトへ応募可能になった。Horizon Europe は、食品の安全性、持続可能な食料システム、バイオエコノミー、環境・農業・資源といったテーマも公募領域に含めている。

2 EU の研究開発資金への応募

EU の研究開発資金への応募は、基本的には工場の建設や投資の拡大を対象とした資金への応募と変わらない。自社にとって適切な公募プロジェクトを見出し、応募資格を確認し、必要に応じて登録を行い、提案書を作成・提出するという手順である。このプロセスは、資金の種類やプログラムによって一段階または二段階に分かれることがあるので留意する必要がある。申請については、[EU Funding and Tenders Portal](#) より申請可能である。



Step1 : 資金プログラム特定

EU は、補助金の機会を[プログラム（Calls for proposals）](#) 毎に公表。同リンクよりアクセスが可能で、公募を見つけたら応募資格や要件を確認する。

Step2: パートナー選定

ほとんどの資金は共同プロジェクト向けであるため、共同プロジェクトの申請を検討している場合は提携先を探す。一方で、個別の研究者や組織でも応募できるプログラムがある。

Step3: 申請者登録

申請者を含む全ての事業参加者がポータルに情報が登録されていることを確認。

Step4: 申請書の提出

申請書の作成は、締切に間に合うよう十分な時間を確保する必要がある。一部プログラムは 2 段階での選定プロセスがあり、第 1 段階では最初に概要（コンセプトノート）を提出し、選定された場合は、第 2 段階で完全なプロジェクト提案書を提出することとなる。

3 Horizon Europe の概要（三つの柱に基づく研究領域）

以下では、EU の代表的な研究・開発分野（R&D）の資金枠組みである Horizon Europe 及びその他の同分野に関連する資金枠組みの概要をとりまとめた。

3.1 Horizon Europe の研究領域を規定する 3 つの柱

Horizon Europe は、2021-2027 年までに 935 億ユーロが拠出する計画としている¹。同資金プログラムは以下 3 つの柱で成り立っている²。すなわち、Horizon Europe の個々の事業は、プロジェクトの目的や研究開発の段階に応じて様々な形態があるが、基本的には科学技術の卓越性の追求、社会的課題の解決と産業競争力の強化、イノベーションの創出という 3 つの大きな枠組みのいずれかの一環として展開されている。なお、EU は、既存の Horizon Europe の成果を踏まえ、次期 7 年間のプログラムを 2028 年-2034 年までの EU の次の長期予算の一部として実施することとしている。

Horizon Europe の三つの柱 ³
①. 卓越した科学 EU の科学分野・技術分野でのリーダーシップの促進を目指し、最先端の研究および研究者のキャリア支援、研究者の国際的な協働を目的とした革新的なプロジェクトへ資金投入。
②. グローバルな課題と欧州産業競争力 EU が定める 5 つの社会的な課題①気候変動、②がん治療、③海洋・水保全、④気候変動・スマートシティの構築、⑤土壌の改善への取り組みを促進
③. イノベティブヨーロッパ 画期的なイノベーションを生み出す事業者（特に中小企業事業者やスタートアップ事業者など）の事業促進を図る。具体的には、初期研究、事業規模拡大、民間によるファイナンス促進、画期的なアイデアの市場導入などの事業へ資金投入。

Horizon Europe の具体的アクション（事業形態）に応じて、事業総額の補填割合（全額支給あるいは 3-7 割）が異なる⁴⁵。

3.2 日本による Horizon Europe の準参加

前述の通り、2025 年 12 月、日本と EU は日本の Horizon Europe の準参加について合意した。準参加により、日本政府も資金を拠出し、これまで研究費を持ち寄る形で参加してきた日本の研究機関や企業にとって、共同プロジェクトの遂行（プロジェクトの主導・調整、契約締結など）や資金調達（補助金の申請・受給など）が容易になる。これまでに英国、カナダ、エジプト、韓国など 22 カ国・地域が準参加国となっている。日本による Horizon Europe の準参加は、同イニシアティブの柱②「グローバルな課題と欧州産業競争力」を促進することになる。資金を申請する日本の事業者は、すでに本年 2026 年 1 月より応募可能であり、今後予定されている Horizon Europe の日・EU による正式署名⁶後には採択された場合の研究費の受給が可能となる⁷。

¹ https://research-and-innovation.ec.europa.eu/funding/funding-opportunities/funding-programmes-and-open-calls/horizon-europe_en

² https://www.clustercollaboration.eu/sites/default/files/document-store/ECCP_GTS_Funding%20and%20Financing%20Overview_final.pdf

³ <https://www.consilium.europa.eu/en/policies/horizon-europe/#competitiveness>

⁴ https://rea.ec.europa.eu/horizon-europe-how-apply_en

⁵ <https://www.consilium.europa.eu/en/policies/horizon-europe/#competitiveness>

⁶ <https://sciencebusiness.net/news/horizon-europe/japan-join-horizon-europe-strengthening-eu-role-global-science>

⁷ https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/jp_25_3138

Horizon Europe は 2021 年 6 月より公募が開始した。2025 年 12 月時点で、173 に上る日本の機関（大学、研究機関、企業等のべ数）が 138 のプロジェクトに参加している（2021 年からの総計）。内訳としては、大学の参加が参加者総数の 58%を占めている。現在、研究機関からの参加は 23%、企業からの参加は 19%となっている。

日本が Horizon Europe の準参加国となったことで、日本の研究機関による Horizon Europe への参加が増えるという期待と同時に、むしろ時間がかかるのではないかとの見方も根強くある⁸。日本の参加者を増やすには、Horizon Europe の応募資格やメカニズムを十分理解してもらうための支援活動や言語上の障壁を乗り越える取り組みを官民が協力しながら行っていく必要があるだろう。

3.3 Horizon Europe の申請から承認までのプロセス

Horizon Europe の申請から承認までのプロセスは、以下の通り⁹。また、Horizon Europe の参加国、準参加国、第三国には、National Contact Point（NCP）が各国によって設置されている。日本の場合、この Horizon Europe に関する問い合わせ窓口である NCP は、日欧産業協力センターが担っている¹⁰。

Horizon Europe への申請手順
Step1:申請者の事業内容に見合った資金援助プログラムを見つける。 Horizon Europe 枠組下の資金プログラムは、 Funding and Tender Portal 及び欧州委員会の委託を受けプロジェクトの管理と資金配分を行う 欧州研究執行機関（REA） ¹¹ のサイトから検索できる。ここで注意すべきは、資金プログラムは EU の政策に合致したものであり、事業者のプロジェクトも同様に EU 政策に見合った内容である必要があるということである。この点を徹底するため、NCP との十分な協議が望ましい ¹² 。
Step2:資金援助プログラムへの申請 申請者が Horizon Europe の資金援助プログラムを申請するにあたり、前述の 2 にもある通り、申請プログラムによってはグループを形成しなければならない。申請する資金プログラムによっては二段階の申請となることもある。
Step 3:EU による申請内容の査定 申請内容は、REA によって査定が行われる。同機関内にて専門家パネルが構成され、最長で 5 ヶ月間に渡り審査される。査定が完了し資金の支給が決定した場合、REA より申請者に対して資金援助決定通知を供与金額とともに通知される。所要期間は 2-3 ヶ月。
Step4 : 補助金支給の合意調印（G/A） 補助金供与が決定した団体との合意書の調印が行われる。合意書には、プロジェクトの研究・イノベーション活動、期間と予算、EU の拠出金、それぞれの調印者が持つ権利と義務などが記載されている。

3.4 Horizon Europe によって資金提供された研究開発事業の実例

Horizon Europe の下で日本企業が参加して実施されている食品・イノベーション関連事業は、以下の通り。

事例 1

⁸ <https://sciencebusiness.net/news/horizon-europe/what-japans-association-means-horizon-europe>

⁹ https://rea.ec.europa.eu/horizon-europe-how-apply_en

¹⁰ <https://www.ncp-japan.jp/wp/wp-content/uploads/2026/01/HEProjects.pdf>

¹¹ https://rea.ec.europa.eu/about-rea_en

¹² <https://www.ncp-japan.jp/wp/wp-content/uploads/2026/01/HEProjects.pdf>

現在実施中の事業¹³ : Securing Holistic and Impactful Food Systems Transformation with Novel Foods based on alternative proteins

実施内容 : 昆虫や藻類、微生物などに由来する代替タンパク質食品 (NFAP) の持続可能性を包括的に評価し、食料システム全体を見据えた分析やシナリオ検討を通じて、EU における NFAP の持続可能な導入に向けた政策・意思決定を支援する知識基盤と提言を提供するのが目的。

実施機関 : Lund University (スウェーデン) 等

参加日本企業 : 株式会社 NTT データ経営研究所

供与金額 : 4,499,427.50 EUR

事業期間 : 2024 年 11 月 1 日～2027 年 10 月 31 日

事例 2

現在実施中の事業¹⁴ : Bio-based sustainable SURfactants TO foster GREEN industry

実施内容 : 化石燃料由来の界面活性剤やポリマーを、森林・農業廃棄物など EU 域内のバリューチェーンから得られる持続可能なバイオベース代替品で置き換えることを目指す。食品連鎖に影響を与えない再生可能資源から、新規のバイオベース界面活性剤およびバイオリマー／オリゴマーを合成する計画。本取組では、家庭用・パーソナルケア、繊維、農業の各分野における産業実証装置でこれらの新製品を検証し、機能性、安全性、持続可能性を評価する。

実施機関 : CONSORZIO INTERUNIVERSITARIO PER LO SVILUPPO DEI SISTEMI A GRANDE INTERFASE 等

参加日本企業 : 資生堂、日光ケミカルズ

供与金額 : 7,346,987.50 EUR

事業期間 : 2024 年 10 月 1 日～2029 年 9 月 30 日

事例 3

現在実施中の事業¹⁵ : Social industrial collaborative environments integrating AI, Big Data and Robotics for smart manufacturing (CONVERGING)

実施内容 : 世界経済の危機や資源不足などにより市場環境が厳しくなる中、製造業は新たな革新や戦略で適応する必要がある。本事業は、AI 認知、ビッグデータ、デジタルツイン、リアルタイム統合などを活用した適応型生産システムを提供し、人と AI の高度な協調、効率的な AI 制御、生産ライン全体の評価・監視を可能にすることを目指している。

実施機関 : パトラス大学 (ギリシャ) 等

参加日本企業 : カワトロボティクス株式会社

供与金額 : 8,093,945,49 EUR

事業期間 : 2022 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日

¹³ <https://ec.europa.eu/info/funding-tenders/opportunities/portal/screen/opportunities/projects-details/43108390/101181470/HORIZON?order=DESC&pageNumber=1&pageSize=10&sortBy=relevance&keywords=agriculture&programmePart=43108557,43118846,43118971,43120193,43120821,43121563,43108541&frameworkProgramme=43108390&countries=20000925>

¹⁴ <https://ec.europa.eu/info/funding-tenders/opportunities/portal/screen/opportunities/projects-details/43108390/101157688/HORIZON?order=DESC&pageNumber=1&pageSize=10&sortBy=relevance&keywords=agriculture&programmePart=43108557,43118846,43118971,43120193,43120821,43121563,43108541&frameworkProgramme=43108390&countries=20000925>

¹⁵ <https://www.ncp-japan.jp/wp/wp-content/uploads/2026/01/HEProjects.pdf>

4 その他の R&D に関する資金供与プログラム

Horizon Europe 以外の R&D 関連の EU の資金供与枠組みは以下の通り¹⁶。

その他の EU による R&D に関する資金供与プログラム	
• Eureka (ユーレカ)¹⁷ : 国際的な R&D ネットワークで、EU 加盟・非加盟国も含む 48 カ国以上が参加。企業・大学・研究機関が国境を越えた共同プロジェクトを行う際の資金支援を行う。主に 中堅企業・SME (中小企業) が対象で、国際共同研究の立ち上げやプロジェクト実行を支援。EU 域内のパートナーと組んだ研究開発や、製品化に向けたコラボレーションに使える可能性がある枠組¹⁸ • マリーキュリーアクション (MSCA)¹⁹ : 研究者のキャリア開発と国際共同研究を支える主要な EU プログラムで、EU 外からの研究者も対象になる。食品企業向けの活用例としては、食品科学・バイオプロセス・食品安全などの専門人材を EU との共同研究プログラムに参加させる際に活用可能、博士・ポスドクなどの研究者との連携・人材育成支援に適している。 • 日本-EU 共同研究枠組み²⁰ : 独立行政法人 JST などを通じた日-EU の共同研究募集 (戦略的共同研究プログラム) もある。特定テーマでの共同プロジェクト形成に役立つ可能性がある。	

5 結びに代えて

本レポートでは、主に EU 内で R&D の強化を図りたい日本企業のための補助金等の資金支援制度への応募方法と EU の代表的な研究・イノベーション資金枠組みである Horizon Europe の概要をとりまとめた。Horizon Europe は三つの柱に基づく研究領域での R&D プロジェクトの展開を通じて基礎研究から市場導入までを包括的に企業の R&D を支援してきた。日本の Horizon Europe への準参加が認められたことで、日本政府も資金を拠出し、日本の研究機関や企業は EU 加盟国の機関と同等の条件での共同プロジェクトの遂行 (プロジェクトの主導・調整、契約締結など) や資金調達 (補助金の申請・受給など) が容易になるものと期待される。

以上

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。EU 輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、EU 輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先 : EU 輸出支援プラットフォーム (ブリュッセル事務局)

Email : euplatform.brussels@eu.mofa.go.jp

Eurovision & Associates 作成

¹⁶ https://research-and-innovation.ec.europa.eu/funding/funding-opportunities/funding-programmes-and-open-calls_en

¹⁷ <https://www.eurekanetwork.org/>

¹⁸ <https://www.efsa.europa.eu/en/funding-programmes/eureka>

¹⁹ <https://marie-sklodowska-curie-actions.ec.europa.eu/>

²⁰ <https://www.jst.go.jp/inter/program/sicorp/eu.html>